

公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館

令和4年度事業報告

I. 公益目的事業の状況

1. 入園者数について

庭園事業および美術館事業の最近3年間の入園者数および入園料売上は以下の表の通りである。また最近10年間の日本人、外国人別年間入園者数は図の通りである。

令和4年度は、4月1日（金）から10月12日（水）まで昨年度同様火曜日定休、水曜日臨時休園・休館とした。10月13日（木）以降はコロナ沈静化に伴い従来通り火曜日のみ定休とした。

料金区分		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	対前年度 比
入 園 者 数 (人)	一般 (@1,200)	6,914	6,793	13,012	191.6 %
	高・大学生 (@500)	679	800	2,035	254.4 %
	小・中学生 (@300)	327	672	1,603	239.3 %
	特別(一般障が い者)(@500)	703	743	1,108	149.1 %
	高・大学生、小・ 中学生(一般障 がい者)(@500)	0	0	4	-
	団体 (@1,000)	1,738	2,669	7,209	270.1 %
	合計	10,361	11,677	24,971	213.8 %
	外国人 (内数)	613	525	9,835	1,873.3 %
入園料売上 (円)		10,855,200	11,838,980	24,801,375	209.5 %

営業日数 (日)	施設	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	対前年度比
	庭園	240	257	262	+ 5 日
	美術館	201	190	190	0 日
	三秀	240	257	262	+ 5 日

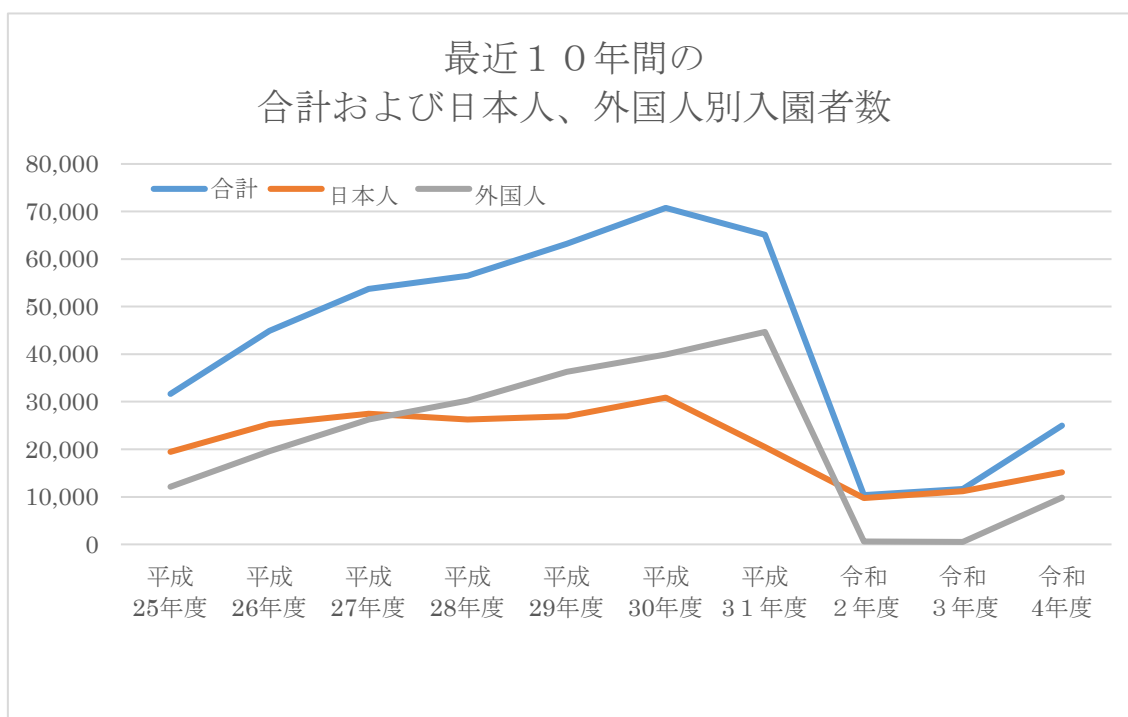
(注 1) 令和2年4月1日から料金区分変更に伴い、従来の15名以上の団体扱いを中止していた(ただし、料金割引提携を行っている団体には、団体料金を適用。)が、令和4年4月1日より15名以上の団体扱いを再開した。

(注 2) 令和2年度上期は、4月、5月を休園・休館とした。

(注 3) 令和3年度は、令和3年5月19日から火曜日の定休日以外に水曜日を臨時休園・休館とした。

(注 4) 令和4年度は令和3年度に引き続き、4月1日(金)から10月12日(水)まで火曜日定休・水曜日臨時休園・休館とした。また、9/20(火)～9/27(火)と12/26(月)～1/14(金)は庭園整備期間として閉園・閉館した。

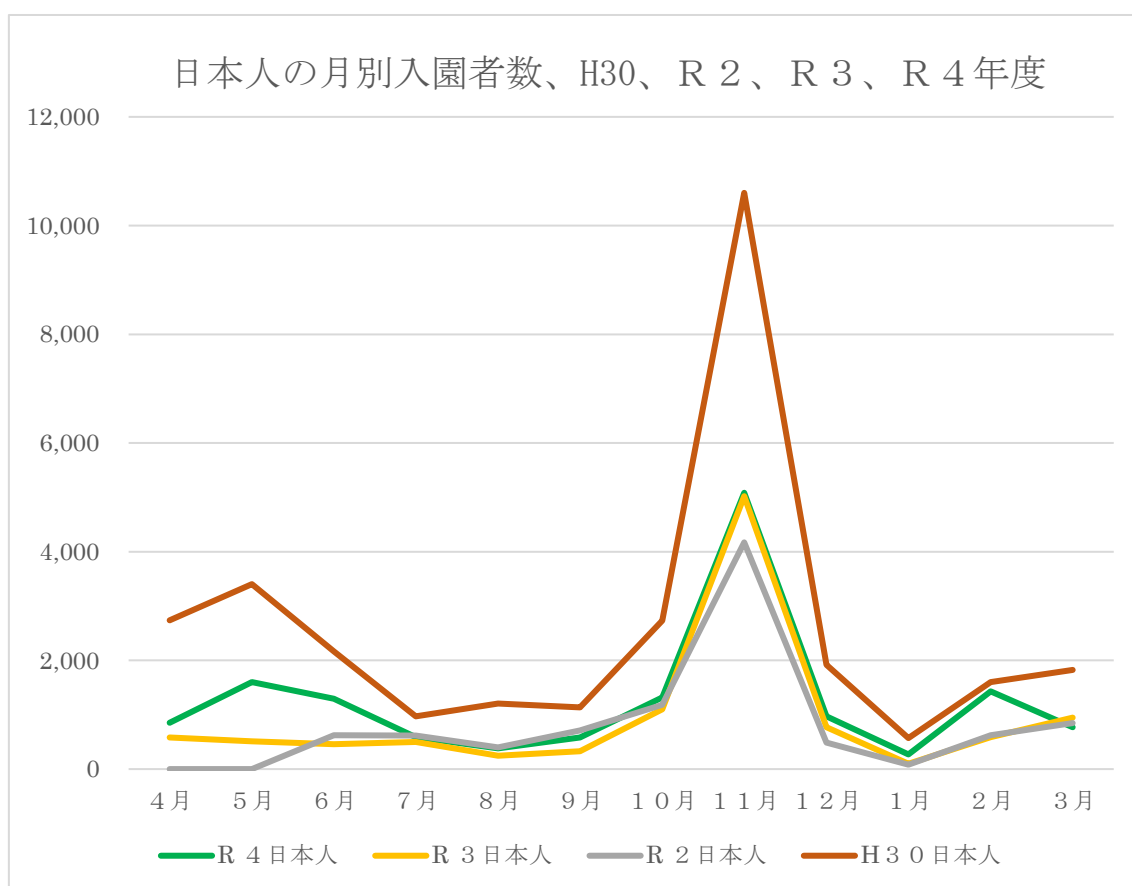
最近10年間の入園者数合計および、日本人、外国人別入園者数はそれぞれ以下の通りである。また、過去10年間の月別入園者数は別紙のとおりである。

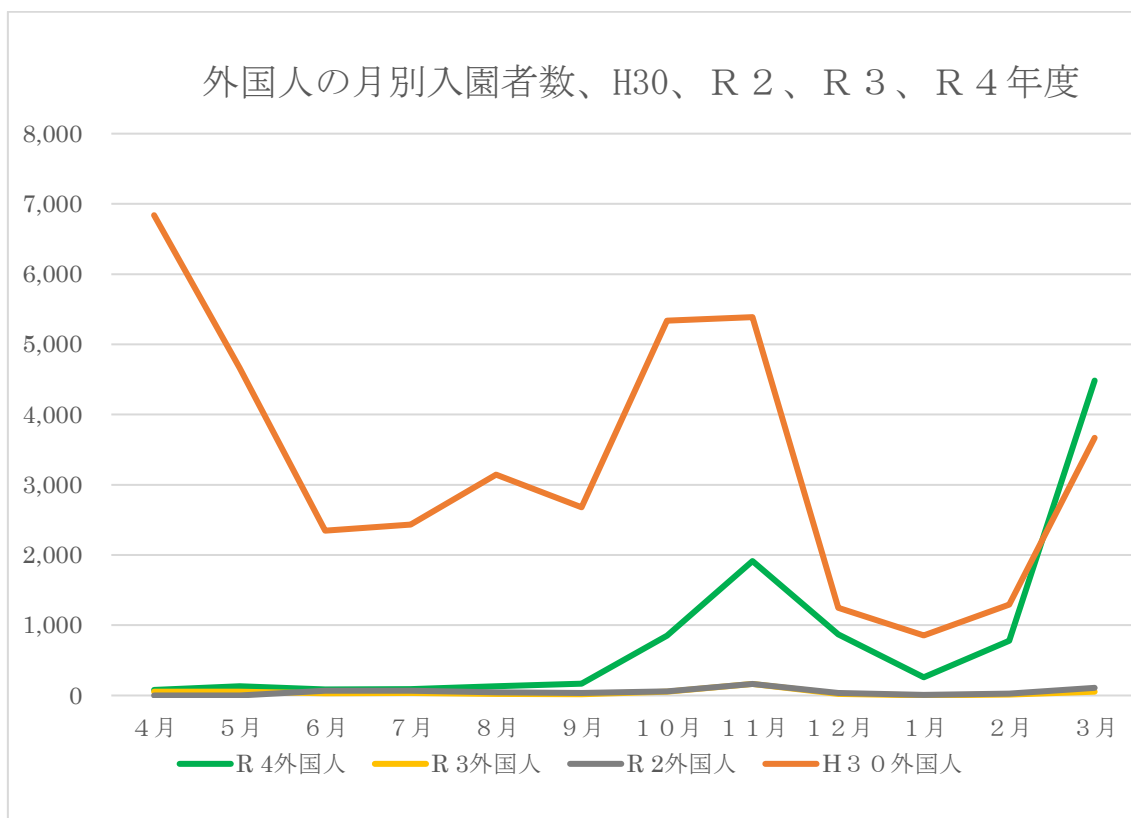


令和4年度の入園者数は、前年度に比べ日本人だけでなく、下期の外国人の増加もあり213.8%と倍増している。新型コロナウイルスの影響がなかった平成30年度(70,761人)と比べると35.2%と約1/3であるが、昨年度の平成30年度比16.5%に比べ大幅に回復してきている。

団体料金区分が大幅に増加しているのは、美術館休館中の一般客の料金区分は一般(@1,200円)から団体(@1,000円)料金となり、この美術館休館中の1月～3月に外国人入園者が大幅に増えた(対前年5,452人増)ことと、JAF会員割引扱い増加した(JAF会員取扱は、令和3年度1,634人、令和4年度2,138人。取扱いは令和2年10月1日より。)ことによる。

日本人と外国人別の数字をグラフ化すると以下の通りである。





日本人入園者数は、昨年度に比べ3月を除いて各月上回っており、年間での比較では、135.7%となっている。今年度は、長く続いた外出自粛の反動もあり4月・5月・6月の一般客の増加に加えて、小・中・高生の修学旅行が回復してきたことも増加の要因の一つである。しかしながら、秋のシーズンの10月・11月はコロナ前の平成30年度に比べて48.0%に留まっている。また、年度を通してコロナ前の平成30年度に比べて49.0%に留まっている。

外国人入園者は、当初国内在住あるいは駐在員等であったが、規制緩和が6月1日から上限2万人、9月7日から上限5万人、10月11日から上限なしとなり、この規制緩和にあわせて外国からの来園者が徐々に増えてきた。特に年度末になって急激に増えている。3月に至っては、コロナ前の平成30年度（平成31年3月）の3,668人に対し今年度は4,484人と22%上回っている。

2. 美術館活動について

(1) 企画展

庭園同様、定休日火曜日に加え、令和4年4月13日（水）から令和4年10月12日（水）まで、水曜日を臨時休園（休館）とした。10月13日（木）以降の水曜日は開園（開館）とした。

【前期展】

<企画室>

テーマ：「きこえる美術」

会 期：令和4年4月7日（木）～7月25日（月） 全82日間

*火曜定休日 但し5/3(火祝)は開園（開館）し5/6(金)は休園（休館）とした。

*6/1(火)は依水園開園記念日のため開園（開館）した。

*期間中水曜日は休園、休館とした。

概 要：“音”を想像させる美術作品を集めた展覧会を開催し、美術鑑賞の新たな側面を提示した。実際に展示会場で音は聞こえずとも、作品の世界に思いを巡らせると、水や木の葉の揺れる音、人や動物の声・楽器の音・湯の沸く音、または降り積もる雪の中の静寂など、さまざまな音の世界を感じることが出来る。本展では、作品に込められた音を意識的に聴き、想像の世界を広げようとする試みをおこなうことで、ひとりひとりの豊かな鑑賞の一助となるよう展示や表示方法に工夫を凝らした。

入館者数 3,612人

展示内容：佐波理大銅鑪/青銅鐘/五人囃子人形/養老飛泉図/蒔絵君ヶ代棗/青銅盤龍座
獸帯鏡/五馬図丸平釜/墨蹟「麟鳳龜龍」他 《展示数25点》

<常設室>収蔵品のうち優品をテーマを設けず展示

展示内容：白磁印花双魚文鉢/白磁長頸瓶/青磁不遊環耳瓶/青花蓮華唐草文碗/
辰砂青花壽福字瓶/集王聖教序帖/化度寺碑帖(朱笥河本)/化度寺碑跋文帖
(元十三家旧跋) 《展示数 8点》

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第三図「屏居山中」

展示期間4月7日（木）～4月22日（金）

【後期展】

<企画室・常設室>

テーマ：「雑器から茶陶へ 一焼き締め陶とその源流」

会 期：8月11日（木）～12月25日（日） 全103日間

*9/20(火)～9/27(火)は庭園整備期間で閉園・閉館とした。

*10月12日（水）まで、火曜定休・水曜臨時休園（休館）とした。

*10月13日（木）以降は、通常の火曜のみ定休日とした。

概 要：自然降灰による風合いが魅力の焼き締め陶を紹介する展覧会を開催した。焼き締め陶のルーツである須恵器など土器に始まるやきものの歴史や、対極にある青磁や白磁との比較、侘び茶の隆盛によって日用雑器が客をもてなす茶の湯の器「茶陶」として見出されてゆく価値観の転換など、日本独自に発展した焼き締め陶の巧まざる美について7章構成で迫った。

入館者数 8,669人

展示内容：須恵器蓋杯/印花文土器蔵骨器/青磁袴腰香炉/高麗土器浄瓶/

かんきくからものかなつみちかひれ めいさえき かつゆうへい なんばんはなれ ぎきしめみつきはなれ 他

《展示数 55点》

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第四回「山居四月」

展示期間 11月2日(水)～17日(木)

※美術館は、令和5年1月～3月末までイベント等開催の為閉館とし、その間学芸部は美術品の資料整理及び次回展示の準備と研究期間とした。

(2) 依水園開園記念日特別展示

令和4年6月1日(水) 入園料金：500円

平成27年度より開始した、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年も継続して実施した。ただし、例年美術館外廊下に依水園のあゆみパネルを設置するが、昨年に続き今年も密を避けるため中止とした。また同様に、この日の恒例行事となっていた煎茶美風流家元中谷美風氏による煎茶道を体験するイベントも中止とした。

入園場者数 156人

(3) 所蔵品の閲覧

① 作品：天堯神識碑帖(劉世珩本) 1点

目的：研究のための調査(全頁調査・写真撮影)

閲覧者：下田章平氏(相模女子大学)・早川桂史氏(相模女子大学)

閲覧日：令和4年4月10日(日)

② 作品：(加藤輝雄氏寄贈)谷聰泉関係資料 印章印譜等 67点

目的：調査・鈐印・写真撮影 (鈐印：印をおすこと)

閲覧者：上田久雄氏(富山県在住 谷聰泉の研究者)

閲覧日：令和4年9月13日(火)～9月15日(木)

③ 作品：中国陶磁龍泉窯作品 5件

青磁蓮弁文多嘴壺/青磁袴腰香炉/青磁貼花牡丹文瓶/青磁蓮弁文碗/
青磁不遊環耳瓶

目的：龍泉窯中国陶磁器の調査

閲覧者：徳留大輔氏(出光美術館)、山田正樹氏(静嘉堂文庫美術館)、
梶山博史氏(中之島香雪美術館)

(出光美術館の事業助成を申請した個人3名による共同研究)

閲覧日：令和5年1月18日(水)

(4) 作品の預かり(寄贈意向作品)

① 預かり日：令和4年4月10日

預け主：北村昭齋氏(漆芸家、重要無形文化財保持者)

預かり作品：軸物「かしくに宝珠図」円能齋・淡々齋合筆 1点

経緯：昭齋氏の祖父である北村久齋(漆芸家)と、明治時代の依水園主 關藤次

郎との関係を示す資料として寄贈意向の旨申し出があったので調査のため預かった。

②預かり日：令和4年11月12日

預け主：藤澤^{ちくま}千曲氏（書家）

預かり作品：杉^{すぎちやうう}聰雨・田能^{ちやくにゆう}村直入・長尾^{ながおうざん}雨山ら軸物/扁額等 14点

経緯：千曲氏の父である藤澤^{せきしん}赤心（書家/篆刻家）は、当館初代評議員園田^{そのだこじやう}湖城に師事していた。赤心の収蔵品のうち依水園に関係する人物の作品寄贈意向の旨申し出があったので調査のため預かった。

（5）助成金申請

申請先：（公財）住友財団 文化財維持・修復事業助成金

申請事業名：「寧楽美術館所蔵青銅製品修復事業」

申請額：1年目 173万円 （5ヵ年総額 963万円）

（別紙：修理作業費と修理作品数 内訳表参照）

修復期間：令和5年度～令和9年度（5ヵ年計画）

作品：144点（青銅器・鏡・帯鉤・武器等）

申請日：令和4年11月28日

修復業者：古美術修理 すぎもと

*前理事長脇坂先生紹介、過去に柳澤家由来の^{あぶみ}鑑と^{くら}鞍の金箔剥がれを修復。

推薦文：泉屋博古館 ^{ひろかわ}廣川 ^{まもる}守氏

京都大学 人文科学研究所 ^{ひでのり}岡村 秀典氏

*両氏とも平成23年12月～24年6月に行われた公益財団法人泉屋博物館による弊館所蔵青銅製品（青銅器・鏡・^{たいこう}帯鉤・武器含む）の調査に携わる。

申請結果：令和5年3月8日 不採用通知

不採用理由：不明

（6）調査のための預かり

①永井^{ながいのびさ}信尚氏より（昨年度より継続）

祖父の永井^{せいこく}青谷氏（俳人）と中村^{かじわら}準策・梶原^{ひさこ}緋佐子（画家・中村準策後妻ふきの妹）らとの書簡や葉書を継続借用し調査。

預かり期間：令和3年11月18日～

②北村昭齋氏より

祖父の北村久齋氏（漆芸家）の遺品より、關藤次郎を含む明治大正期の奈良の文化人に関する資料を研究のため借用（北村久齋の大福帳・吉田^{しゅんほう}包 春関係の葉書・和歌^{えいそうたんざく}詠草短冊・扇子など）。

預かり期間：令和4年4月10日～/ 6月30日～

③芝原^{しばはら} 章^{あきら}氏より

祖父の芝原^{しばはら}二郎^{じろう}氏(奈良の建築士)が設計した当財団設立当初の寧楽美術館(戦時下で建設できず)設計図一式を研究のため借用。

当財団設立者 中村準策の美術館構想や当時の庭園の様子を知る貴重な資料をデータ化して保管。

預かり期間：令和4年4月27日～

(7) 保存修復

①作 品：狭川^{きがわみ}明^{あき}俊^{しゅん}「一片氷心在玉壺^{いっぺんのひょうしんぎょつこにあり}」 軸 一幅

修復内容：しみ抜き、裏打のやり直し(虫食い・日焼け)

修復業者：表具師 糊田^{こでん}荘

費用：55,000円

②作 品：阪^{ばん} 正^{まさ}臣^{おみ} 「春日詠夕梅歌^{はるのひにゆうばいをよむうた}」 軸 一幅

修復内容：表具新装

修復業者：表具師 糊田^{こでん}荘

費用：40,000円

③作 品：淡々^{たんたん}斎^{さい}・広瀬^{ひろせ}拙^{せつ}斎^{さい}「豊年^{ほうねん} 三茄子画讃^{さんなすびがきん}」 軸 一幅

修復内容：表具新装

修復業者：表具師 糊田^{こでん}荘

費用：43,000円

(8) 「依水園のひなまつり」の開催

平成30年度の初回から引き続き今年度も「依水園のひなまつり」を開催。

期 間：令和5年2月8日(水)～3月5日(日)

23日間

場 所：主屋立礼の間・藤の間

観覧料：1,200円(入園料を含む)

内 容：「曲水の宴」の平飾りのひな人形・五段飾り稚児雛人形

新型コロナウイルス対策として、定員10名とし、チェックポイントのパネルを増やすことで極力職員による説明をなくした。

展示品は、依水園の前所有者である關 藤次郎が孫娘の初節句に贈った

「曲水の宴」の平飾りひな人形をはじめとして、稚児雛、市松人形等、關 藤次郎の縁者より当財団に寄贈されたものである。

入場者数 2,306人

入場者数は昨年度832人に対して今年度は2,306人と1,474人増(177%増)となった。開催期間は24日から23日と1日減となったが、一日あたりでは35人から100人に増えている。

3. 広報宣伝、営業企画活動等について

(1) プレスリリース

美術館企画展（前期・後期）、依水園開園記念日、依水園のひなまつり等催しに関してプレスリリースを実施した。

(2) リーフレット作成

美術館企画展（前期・後期）、お茶室見学会、依水園のひなまつりに関してリーフレット（A4両面）を作成し市内観光案内所、ホテル等に配布を依頼した。

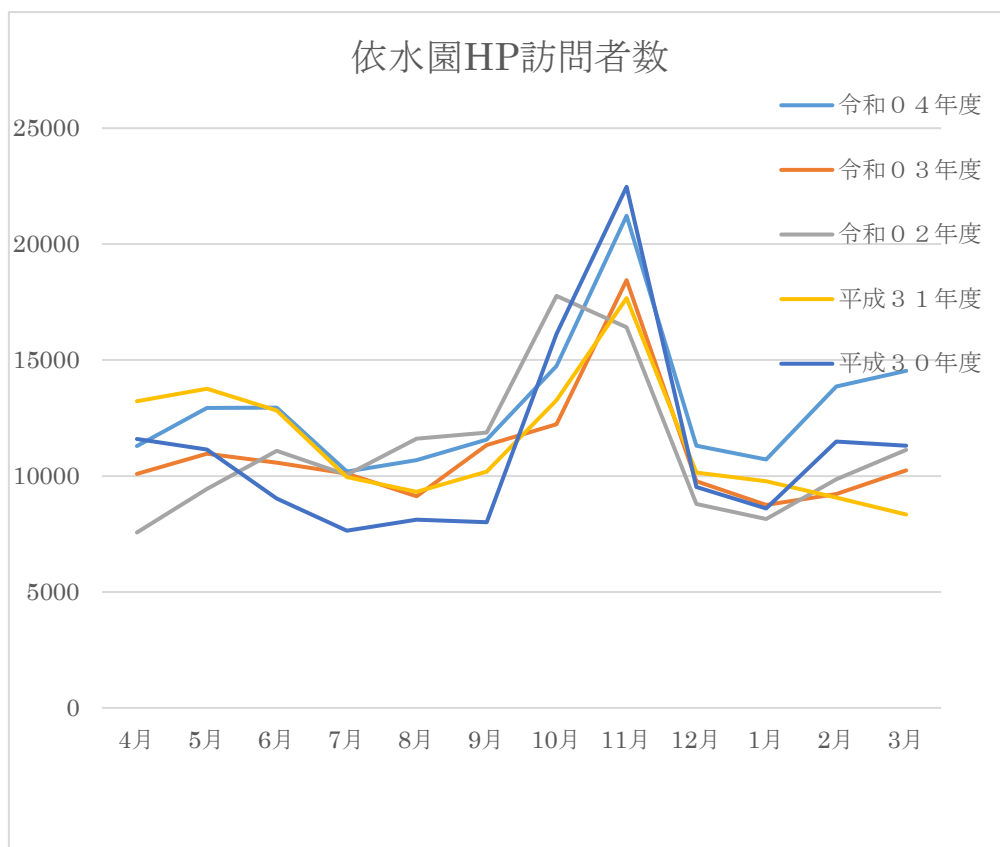
(3) 職員による庭園案内を令和2年6月より再開

新型コロナウイルス感染防止のため、お客様には積極的にアプローチを行っていない。

(4) Twitter を令和2年11月から、Facebook を令和2年12月から開始し現在も継続して実施している。

(5) ホームページ

平成30年度から令和4年度までの依水園 HP 訪問者数は下記グラフの通りである。



令和4年度の合計アクセス数は、156,014件であり前年度に比べて11.2%であった。薄青色の令和4年度のグラフは、1月以降は濃い青色のコロナ前の平成30年度

を大きく上回っている。HP のアクセス数が入園者数の先行指標と考えると令和 5 年度の入園者数はコロナ前を大きく上回ることを期待させる。

今期のホームページの花だよりは合計 39 枚の開花状況の写真の更新（前年度 29 枚）を行った。

(7) トリップアドバイザー (<https://www.tripadvisor.jp>)

依水園は、2019,2020 年は、世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」のトラベラーズチョイス（いわゆる殿堂入り）に選ばれた。しかし 2021,2022 年には入園客のコメントが減ったためか選ばれていない。同様の理由でか、奈良市の観光地ベスト 10 の中でも 2021 年は 7 件がこれに選ばれたが 2022 年は、東大寺、奈良公園、興福寺の 3 件のみである。コメントが少ないため、評価の変化は少ないが、令和 5 年 5 月 7 日現在ではこの 1 年でとても良いが 1 件、良いが 4 件増加、普通以下は増加なしで、その結果 490 件中とても良い 304、良い 125、普通 51、悪い 9、とても悪い 1、で平均 4.5 となった。

コメントの言語別は英語 278（2 増）、日本語 88（1 増）、中国語（簡）68（増減なし）、中国語（繁）66（増減なし）、フランス語 32（増減なし）、イタリア語 24（1 増）、スペイン語 21（増減なし）、他 44（ポルトガル語、ドイツ語、ロシア語等、増減なし）、総計 621（4 増）でこれもほぼ同じ。

最新コメントは、イギリス人カップルによる「とても良い」（五つ星）で、

Scenic and colourful park

A short walk from Nara park, the Isuien garden is well worth a visit. Entry price is 1200 yen. With its sculpted trees, ponds and bridges, the gardens must be beautiful at any time of year. At the time of our April visit, the garden was a riot of colour. A multitude of rhododendron bushes were in full bloom adding an extra dimension to this serene garden.

（Google 翻訳）

風光明媚でカラフルな公園

2023 年 4 月 ・ カップル ・ 夫婦

奈良公園から少し歩いたところにある依水園は一見の価値があります。入場料は 1200 円。彫刻が施された木々、池、橋がある庭園は、一年中いつでも美しいに違いありません。4 月に訪れたとき、庭園は色とりどりでした。たくさんのシャクナゲの茂みが満開で、この穏やかな庭園に特別な次元を加えていました

奈良市の観光地での順位は、依水園は 3 年連続 9 位で、ベスト 10 は、東大寺、奈良公園、春日大社、奈良県猿沢ビジターセンター&イン、興福寺、唐招提寺、東大寺二月堂、依水園、奈良国立博物館、薬師寺の順、東大寺と奈良公園の順位が入れ替わり、薬師寺がベスト 10 入りした。

4. 補助金事業について

今年度は、屋外の自動火災報知設備工事・消火設備工事の補助金事業が認められ実施した。

事業費 18,400千円（内訳 9,200千円が文化庁補助額、2,760千円が県補助額、2,024千円が市補助額、4,416千円が当財団負担額）

参考① 令和2年度は、柳生堂の屋根葺き替え及び修理、蔵の修理の補助金事業実施。

事業費 19,984千円（内訳 11,990千円が文化庁補助額、2,997千円が県補助額、2,797千円が市補助額、2,200千円が当財団負担額）

参考② 令和3年度は、令和2年度に引き続き柳生堂の屋根葺き替え及び修理の補助金事業実施。

事業費 24,000千円（内訳 14,400千円が文化庁補助額、3,600千円が県補助額、2,640千円が市補助額、3,360千円が当財団負担額）

5. 文化活動について

(1) 依水園文化講演会

例年講師を招いて行っている文化講演会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により中止とした。

(2) 庭園大研究会

当財団主催の事業として16年目を迎えた、庭師育成の為の「庭園大研究会」は講師牧岡一生氏（庭舎 MAKIOKA 代表）の講義、実習とお茶・お花の実習による月例（月1回第2日曜日）の講習会を約20名の受講者を対象に継続開催中である。今年度の実施月は9月、10月、11月、12月、令和5年3月の計5回。

(3) お茶室見学会

平成25年度より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会開催時期に合わせて、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を今年度も開催した。通常公開していない建物内部を見学できる機会として好評を得ている。今年度も前年度同様新型コロナウイルス対策を行い予約制、1日の回数を2回、定員を1回6名までとして開催した。

期 間：令和5年2月8日（水）～2月12日（日）

5日間

時 間：午前の部 10：30～、午後の部 13：30～（所要時間 80分）

定 員：1回6名以内 要予約

参加費：3,800円

内 容：裏千家十二代 又妙斎の指導により、明治時代に造られた清秀庵や氷心亭の内部を、解説を交えて案内。さまざまな自然の素材を組み合わせでつくられた数寄屋建築の魅力を説明する。また、一般公開に先駆けて依水園ゆかりのひな人形を見学する。

参加者数 58人

参加者数は昨年度38人に対して20人、53%増加した。(期間中見学会実施回数
昨年8回⇒今年10回)

(4)「奈良工芸の粋」展

期 間：令和5年3月16日(木)～3月20日(月) 5日間

平成29年度より毎年3月に奈良新聞社が主催する、「奈良工芸の粋」展会場として当園の美術館、主屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売、茶席開設に協力している。今年度も奈良工芸の発展を支援するため会場として美術館、主屋、茶室等の貸出を継続して行った。

入館者数 2,351人

開催期間は昨年と同じ5日間で、入館者数は昨年1,341人に対して1,010人、75%増加した。

II. 収益事業の状況

令和4年度の収益事業のうち、飲食事業の売上、費用、損益はそれぞれ以下の通りであった。

【前年比較】

収益(含む雑収益)	9,772千円(前年度 5,585千円)	前年度比	175%
費用	10,805千円(前年度 9,068千円)	前年度比	119%
損益	△1,033千円(前年度△3,482千円)	前年度比	30%

【平成30年度比較】

収益(含む雑収益)	9,772千円(H30年度13,093千円)	H30年度比	75%
費用	10,805千円(H30年度12,260千円)	H30年度比	88%
損益	△1,033千円(H30年度 833千円)	H30年度比	△124%

今年度及び前年度の収益には雇用調整助成金がそれぞれ1,748千円、2,035千円含まれる。また費用にもこれに相当する金額が事業に実際に要した費用に、上乗せされている。(休業補償給与として支払われている。)利益は、これらの影響を受けない。

これらを考慮すると、収益(売上)は前年度比倍増(4,218千円→8,694千円)し、新型コロナウイルスの影響がなかった平成30年度の67%(前年度32%)となっており、かなり回復してきている(日本人入園者は平成30年度比49%)。

食事及び抹茶の売上は、前年度比較食事が95%増、抹茶が200%増となっている。

費用は前年度に比べ約1,737千円増(19%増)(9,068千円→10,805千円)となっている。内訳は、事業原価で約640千円増、給与手当で約490千円増、光熱水料費で約288千円増、消耗品費で約155千円増が主なところである。

飲食事業の収支は、昨年度約3,482千円の赤字に対して、今年度は約1,033千円の赤字と赤字幅は縮小している。

物販事業は、雇用調整助成金の影響は少ないので、これを含め収益1,005千円(前

年度383千円、平成30年度1,078千円)、費用812千円(前年度738千円、平成30年度1,706千円)で損益193千円(前年度△356千円、平成30年度△628千円)と黒字となった。収益の内訳として385千円の寄付金収入が含まれており、これを除くと、192千円の赤字となる。

不動産事業は、平成30年度から貸家4軒がすべて空き家となり、収入は館舎の家賃のみである。今年度は、減価償却費、固定資産税等がほぼそのまま赤字となり、損益は1,021千円の赤字となった。空き地の活用方法については、継続検討中であり、今年度も特に具体化はされなかった。なお、本年度中に奈良市よりの危険家屋対策の要請に応じて家屋の取り壊しを完了している。

Ⅲ. 庶務事項

1. 組織・人員等

(1) 主要事項

なし

(2) 人員(令和5年3月31日 現在)

理事	6名(うち常勤2名)
監事	2名(非常勤)
評議員	6名(非常勤)
職員	32名

2. 役員会

(1) 評議員会

① 定時評議員会(令和4年6月10日 依水園会議室 WEB会議)

議題 第1号議案 令和3年度財務諸表及び財産目録の承認について

第2号議案 理事の選任について

報告事項 令和3年度事業報告について

② 第1回臨時評議員会(令和4年6月21日 みなし決議)

議題 第1号議案 評議員の選任について

(2) 理事会

① 第1回理事会(令和4年5月23日 依水園会議室)

議題 第1号議案 令和3年度事業報告書並びに財務諸表及び財産目録の承認について

第2号議案 公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館寄贈美術品等の受入れ規程について

第3号議案 寄贈美術品等の受入れについて

第4号議案 定時評議員会の招集について

第5号議案 定時評議員会議案「理事選任」の候補者選定について

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告

②第2回理事会（令和4年6月10日 依水園会議室）

議題 第1号議案 理事長（代表理事）、館長（業務執行理事）及び副館長の選定について

②第3回理事会（令和5年3月1日 依水園会議室 WEB会議）

議題 第1号議案 令和5年度事業計画書(案)および収支予算書(案)並びに資金調達および重要な設備投資の見込み承認について

第2号議案 寄付金の受入れについて

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告

（令和4年度上期事業報告）

IV. その他

1. 新型コロナウイルス対応について

(1) 一昨年度は、令和2年3月29日（日）から5月31日（日）までの2ヶ月間、新型コロナウイルス感染予防対策及び緊急事態宣言により、休園・休館を実施した。昨年度は、令和3年5月19日（水）より水曜日を臨時休園日とし、引き続き今年度も4月1日から継続実施した。ただし、6月1日（水）開園記念日及び秋のシーズン、海外からの入国制限が撤廃された10月19日（水）以降の水曜日は開園・開館した。

(2) 新型コロナウイルス感染予防対策

(当園・当館の取組)

昨年度と同様

- ・職員は、検温発熱のないことを確認して出勤する。
- ・職員のマスク着用、手洗い、手指の消毒徹底。
- ・通常の清掃、消毒に加え、よく人が触れるところを随時消毒。
- ・定期的に展示室、部屋の換気実施。
- ・美術館入館者の上限を20人とする。お食事処三秀入店人数の上限を20名とする。

(お客様に対して)

- ・発熱等体調不良の方の入園・入館お断り。
- ・マスク着用の協力。
- ・他の方との距離を2メートル保っていただく。

2. 雇用調整助成金

①申請開始日 令和2年4月分給与から

②交付額

（円）

月	2020年5月	6月	7月	10月	11月
交付額	548,118	1,293,480	952,380	304,394	217,970
月	12月	2021年1月	2月	3月	2020年度合計
交付額	196,125	228,485	64,547	204,603	4,010,102
月	2021年4月	5月	6月	7月	8月
交付額	292,229	298,817	548,510	861,717	621,847
月	9月	10月	11月	12月	2022年1月
交付額	664,381	690,929	848,524	683,416	555,879
月	2月	3月			2021年度合計
交付額	287,031	429,253			6,782,533
月	2022年4月	5月	6月	7月	8月
交付額	199,521	701,271	590,269	683,267	547,804
月	9月	10月	11月	12月	2023年1月
交付額	600,756	613,726	896,773	395,666	147,293
月	2月	3月			2022年度合計
交付額	270,951	178,146			5,825,443

3. 文化庁令和3年度補正予算事業（ARTS for the future 2）補助金交付申請

- ① 事業内容：コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業
- ② 申請日：令和4年8月20日付
- ③ 交付決定通知：令和4年10月12日付
- ④ 補助金の額：3,796,000円（上限）
- ⑤ 実績報告書提出：令和5年12月29日付
- ⑥ 最終補助金交付額：3,779,000円

なお、交付決定通知後AFFロゴを館内に表示する。

4. 令和3年度文化芸術振興費補助金（文化施設の活動継続・発展等支援事業）

- ① 申請日：令和4年7月9日付
- ② 交付決定通知：令和4年8月24日付
- ③ 交付決定額：30,000円
- ④ 計画変更申請日：令和5年1月5日付
- ⑤ 変更交付決定通知：令和5年1月20日付
- ⑥ 変更交付決定額：13,000円（±20%）
- ⑦ 実績報告書提出：令和5年2月1日付
- ⑧ 最終補助金交付額：12,000円

5. 事業復活支援金（中小企業庁）

① 事業内容：新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受け、対象月の売上高が、50%以上又は30%以上減少した法人に、事業規模に応じた給付金を支給。

② 申請日：令和4年3月20日付

③ 給付金額：1,000,000円

④ 入金日：令和4年5月2日

6. いまなら。キャンペーン2022プラス

① 申請日：令和4年6月12日付

② 登録日：令和4年6月26日付

③ 利用期間：2022年7月1日～2023年3月31日

(内 2022年10月11日～2023年2月28日は全国旅行支援期間)

④ 実績：962,018円

7. 奈良県新型コロナウイルス感染防止対策施設認証

① 申請日：令和3年8月20日

② 認証日：令和3年9月26日付(認証区分 2つ星)

③ 認証更新日：令和4年8月16日付

以上